**プロジェクトの事後分析レポートの例**

|  |
| --- |
| **プロジェクトタイトル** |
| 第1回修士課程コホート |
| **モデレータ** | **準備日** |  |
| サリー・スミス | 5月12日 |  |
|  |  |  |
| プロジェクト概要 |
| プロジェクトの当初の目標と目的は何ですか? |
| 新修士課程の大学院生20名の採用・維持 |
| プロジェクトの成功の当初の基準は何でしたか?  |
| 目標コホート規模の100%を登録し、卒業率が80%以上であること |
| プロジェクトは当初の期待どおりに完了しましたか? |
|  20名の学生が在籍しましたが、卒業率は70%で、14名が修了しました。 |
| その他のコメント |
|   |

|  |
| --- |
| プロジェクトのハイライト |
| 主な成果は何でしたか? |
| 当初の入学目標を達成したことは、これが確立された評判や重要な口コミ紹介のない新しいプログラムであることを考えると、大きな成果でした。  |
| どのような方法がうまくいったのですか? |
| オンラインマーケティングは最大のリターンを生み出し、学生の80%が当社のウェブサイトおよび/またはターゲットを絞った検索広告を通じてプログラムについて知ったと報告しています。入学した学生の大半は、入門電話や対面イベントにも参加しました。 |
| このプロジェクトの達成に特に役立ったことは何ですか? |
| マーケティングにリソースを集中させること、入学希望者に1対1の説明会を提供すること、プログラム全体を通して学生からのフィードバックを求めることなど、次の戦略が特に有用であることがわかりました。  |
| その他のコメント |
|   |

|  |
| --- |
| プロジェクトの課題 |
| プロジェクトのどの要素がうまくいかなかったのですか?  |
| 早期にプログラムを離れた学生のうち4人は、混乱、不明瞭なコミュニケーション、誤解を招く情報などのプログラムの問題を訴えました。2人の学生が個人的または経済的な理由でプログラムを去りました。 |
| 改善が必要な具体的なプロセスは何ですか? |
| アカデミックな方法と体験的な方法を組み合わせた新しいプログラムです。これらの方法については、より伝統的な学問的環境に慣れている可能性のある入学希望者と明確にコミュニケーションをとる必要があります。プログラムの初学期中に, 教員とスタッフの間にいくつかの誤解がありました;これらの誤解は、土壇場でのスケジュール変更だけでなく、学生の経験に影響を与える他の変更をもたらしました。 |
| これらのプロセスを将来どのように改善できますか? |
| * プログラム方法を強調し、期待を明確にするために、入学希望者向けの情報資料を修正します。
* 教職員会議を増やす。
* スケジュールの変更については、できるだけ早く学生と連絡を取り、変更の処理方法について詳細な説明を行います。
 |
| 主な問題領域(予算編成、スケジューリングなど)は何でしたか? |
| * スケジュールの変更やその他の問題に対して事前に準備はしていませんでした。
* 通信はプログラムのレベル間で一貫性がありませんでした。
 |
| 技術的な課題を挙げる。 |
|   |
| その他のコメント |
|   |

|  |
| --- |
| プロジェクト後のタスク/今後の考慮事項 |
| 継続的な開発と保守の目標を挙げる。 |
|   |
| まだ完了する必要があるアクションと、その完了の責任は誰にありますか? |
| * John Doe は、上記の変更を反映するようにマーケティング資料を調整します。
* Alex Beeは、採用担当者が1対1のセッションで特定の話題を確実にカバーするためのトレーニングを提供します。
* Alice Smith は会議の予定表を管理し、メモがすべての出席者に配布されるようにします。
* ブルース・ジョーンズは、プログラムの将来に関する組織的な問題と目標を議論するためのプログラム会議を促進します。
 |
| その他の未解決のプロジェクト項目を一覧表示します。 |
|   |
| その他のコメント |
|   |

|  |
| --- |
| 計画段階 |
| **教訓** | **達成。** | **コメント** |
| プロジェクトの計画とスケジューリングは十分に文書化され、適切な構造と詳細が完成していました。  | Y |   |
| プロジェクト スケジュールには、プロジェクトのすべての要素が含まれていました。  | Y |   |
| タスクは明確に定義されていました。 | Y |   |
| 利害関係者は、計画プロセスに十分なインプットを持っていました。  | Y |   |
| 要件は収集され、明確に文書化されました。  |  |   |
| 基準はプロジェクトのすべての段階で明確でした。 |  |   |
|   |  |   |
|   |  |   |
|   |  |   |
|   |  |   |
| その他のコメント |
|   |

|  |
| --- |
| 実行 |
| **教訓** | **達成。** | **コメント** |
| プロジェクトは当初の目標を達成しました。  | N | 入学は達成しましたが、中退率も高かったです。 |
| 予期せぬ変化が起こったのは、管理可能な頻度と強度でした。  | 糝 | これらの変化は、学生の退学の一因となったのかもしれません。変更を管理するプロセスを合理化し、標準化する必要があります。 |
| プロジェクトのベースライン (つまり、時間、範囲、コスト) は慎重に管理されていました。  | Y | 低い登録または保持の可能性のために計画された予算。 |
| 基本的なプロジェクト管理プロセス(リスクおよび問題管理)は効率的でした。  | Y |   |
| プロジェクトの進捗状況は、正確で組織的な方法で追跡および報告されました。  | Y |   |
|   |   |   |
|   |   |   |
|   |   |   |
|   |   |   |
|   |   |   |
| その他のコメント |
|   |

|  |
| --- |
| ヒューマンファクター |
| **教訓** | **達成。** | **コメント** |
| プロジェクトマネージャは、適切な関係者に報告しました。 | Y |   |
| プロジェクト管理は効果的でした。 | 糝 |   |
| プロジェクトチームは組織され、十分な人員が配置されていました。 | –– | この問題は、さらに確認する必要があります。 |
| プロジェクトマネージャーとチームは適切なトレーニングを受けました。  | N | 私たちは今、私たちが修正するトレーニングのギャップを見ています。これにより、採用担当者やアカデミックカウンセラーに適切な研修を提供できるようになります。 |
| プロジェクトチームメンバー間のコミュニケーションが効率的でした。 | N | コミュニケーションの改善に関するコメントについては、上記のセクションを参照してください。 |
| 機能領域は効果的に連携しました。  | Y |   |
| 相反する目標は、部門間の問題を引き起こさなかった。  | Y | このプログラムは、当社の他のプログラムと矛盾するものではありません。 |
|   |   |   |
|   |   |   |
|   |   |   |
| その他のコメント |
|   |

|  |
| --- |
| 全 |
| **教訓** | **達成。** | **コメント** |
| 元のコスト予測は正確でした。  | Y |   |
| 学生のニーズは満たされました。  | 糝 | 調査の結果、ほとんどの学生はプログラムの編成とコミュニケーションにいくらかの改善を推奨しました。プログラムを修了することを選択した学生は、カバーされた情報、学術的厳密さなどに対する全体的な満足度を報告しました。  |
| プログラムの目的は達成されました。  | 糝 |   |
| 大学の目標は達成されました。  | Y | 最初のコホートを無事に完了し、プログラムの構築を継続するのに役立つ教訓を学びました。 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| その他のコメント |
|   |

|  |
| --- |
| プロジェクト終了の受け入れ |
|  |  |  |
| **プロジェクトマネージャ名** | **日付** | **プロジェクトマネージャの署名** |
|   |   |   |
|  |  |  |
| **スポンサー名** | **日付** | **スポンサー署名** |
|   |   |   |

|  |
| --- |
| **免責事項**Web サイトで Smartsheet が提供する記事、テンプレート、または情報は、参照のみを目的としています。当社は、情報を最新かつ正確に保つよう努めていますが、本ウェブサイトまたは本ウェブサイトに含まれる情報、記事、テンプレート、または関連グラフィックに関する完全性、正確性、信頼性、適合性、または可用性について、明示的または黙示的を問わず、いかなる種類の表明または保証も行いません。したがって、お客様がそのような情報に依拠する行為は、お客様ご自身の責任において厳格に行われるものとします。 |